

# 令和2年度における 唐津海上保安部の取組み

---

～いつか来る災害に備えて～

令和3年3月24日  
唐津海上保安部



# 離島における新型コロナウイルス感染症患者搬送訓練

(R2. 5. 28)



県内離島において、新型コロナウイルス感染症患者が発生したとの想定で、関係6機関総勢49名が参加し、罹患者の搬送訓練を実施、感染防止措置をはじめ関係機関の連携・役割を確認し、実動への備えを強化しました。

参加機関：唐津海上保安部、伊万里海上保安署、佐賀県唐津保健福祉事務所、佐賀県玄海水産振興センター、佐賀県唐津警察署、唐津市消防本部

# 佐賀県原子力防災訓練への参加（R2. 11. 7）



巡視艇によるUPZ立入規制訓練を実施したほか、離島（小川島）住民避難訓練において、巡視艇により新型コロナウイルス感染症罹患者の搬送を実施しました。

# 津波フラッグ掲出等訓練 (R2. 11. 5)



令和2年6月に制定された「津波フラッグ」の県民への普及啓発を図るため「玄界灘に大津波警報が発表された」想定で津波フラッグを唐津城等沿岸3か所に掲出、遊走中のヨット等20隻が避難する中、佐賀県水難救済会により逃げ遅れたSUP(スタンドアップパドルボード)遊走者の救助を行うなどの訓練を実施しました。

参加機関: 唐津海上保安部、佐賀地方气象台  
佐賀県、佐賀県唐津警察署、唐津市  
唐津市消防本部、佐賀県水難救済会




# 「NET118」周知活動 (R3. 1. 12 及び 1. 31)






海上保安庁では、聴覚や発話に障がいを持つ方を対象として、スマートフォン等を使用した入力操作により、海の緊急通報が可能となる「NET118」の運用を行っており、佐賀県聴覚障がい者協会理事長及び唐津地区の聴覚障がい者の方々に周知・利用登録説明会を開催しました。また、視覚的に津波警報等の発表を知らせる津波フラッグの周知活動も行いました。

# 津波は避難 フラッグのサイン

- 1 「海辺についたら避難場所をまず**確認!**」  
看板等で避難場所・避難経路を確認しましょう。
- 2 「津波フラッグ  は**避難**のサイン!」  
津波フラッグを見たら、すぐに安全な場所に避難しましょう。
- 3 「**高いところへ**すぐ避難!」  
津波警報等の発表を知った時、強い揺れ・長い揺れを感じた時は、海岸から離れて、高台など安全な場所に避難しましょう。
- 4 「海岸に**近寄らない!**」  
津波警報等の解除までは、危険なので海岸に近寄らないでください。
- 5 「油断は**禁物!**第2波、第3波が襲来するかも!」  
津波は数時間続いたり、第1波よりも大きな津波が襲来する事があります。



 <p>津波に対しての安全な避難場所(高台)の情報を表示しています。 津波避難場所</p>	 <p>津波に対しての安全な避難場所(津波避難ビル)の情報を表示しています。 津波避難ビル</p>	 <p>津波が起きた場合、津波が襲来する危険のある地域に表示しています。 津波注意</p>
--	--	--

## 令和2年度における 唐津海上保安部の取組み

~いつか来る災害に備えて~

唐津海上保安部

